

新庁舎「実施設計」の概要をお知らせします

■ 問合せ先＝新庁舎建設課 (☎ 22-3101)

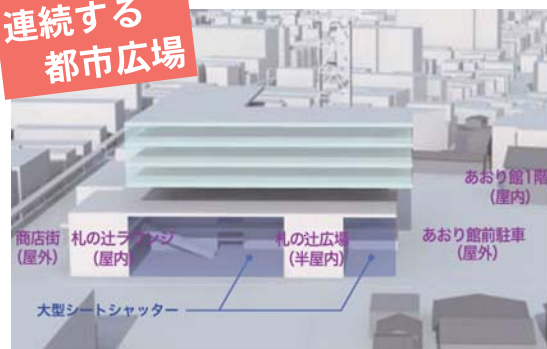
「広報しばた」2月17日号に引き続き、新庁舎実施設計の概要をお知らせします。平成25年3月に策定した「新庁舎基本設計」をもとにして、実施設計を策定しました。実施設計では、各階の詳細な配置やエスカレーターを階段に変更するなど、コストや運用面を踏まえて、具体的な設計を行いました。

平成28年度の完成を目指し、今後は施工業者選定の手続きを進め、工事に着手する予定です。なお、進捗状況は随時お知らせしていきます。

【設計コンセプト】

- 中心市街地活性化の核となる庁舎
 - 街並みに配慮した外観の庁舎
 - わかりやすく機能的な3層構成
 - 連続する都市広場
- 〈札の辻ポケットパーク/札の辻ラウンジ/札の辻広場/あおり館前駐車場〉

連続する都市広場



連続する都市広場とは
商店街から始まり、あおり館に至る通り抜け可能な大きな公共空間



南側(商店街側)から見た新庁舎

可動壁によるレイアウトパターン

議会閉会時の議場は、多様な市民利用が可能となるように可動壁を設置

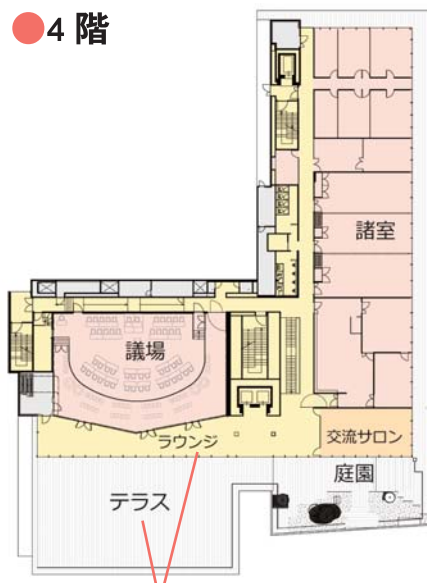


大ホール：コンサートや講演会などに対応



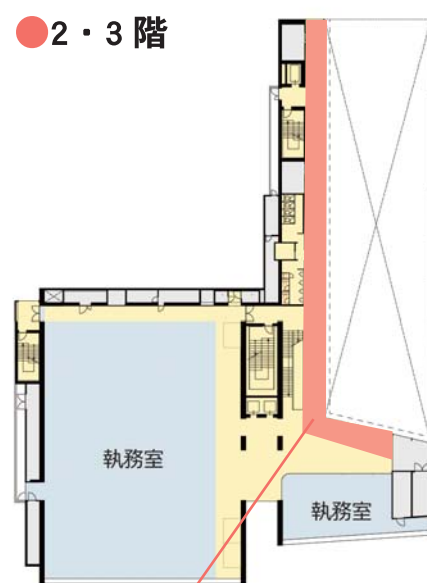
オープンラウンジ：可動壁・議場家具を格納し展示会やイベントなどに対応

●4階



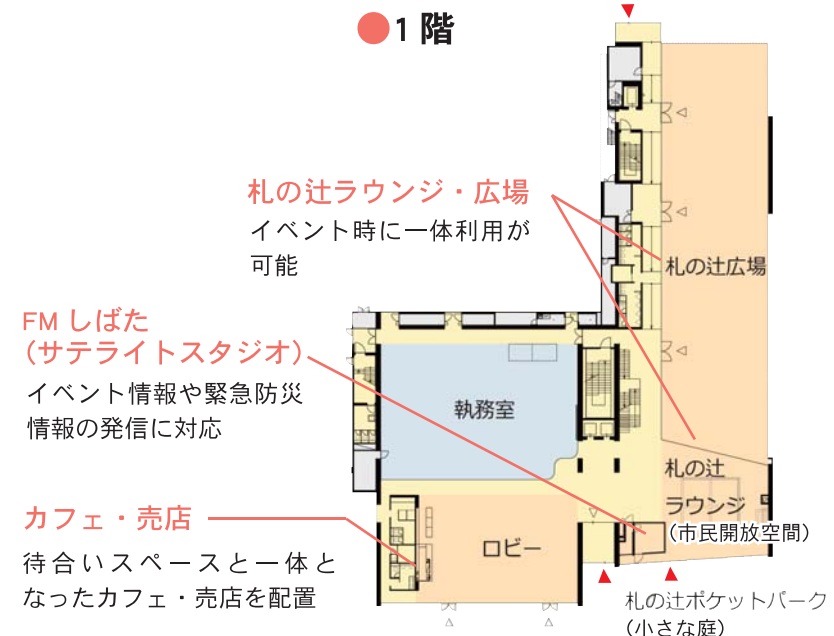
テラス・ラウンジ
市民の憩いの場として利用

●2・3階



札の辻広場側の通路は、イベント時に観客席として活用

●1階



札の辻ラウンジ・広場
イベント時に一体利用が可能

FM しばた (サテライトスタジオ)
イベント情報や緊急防災情報の発信に対応

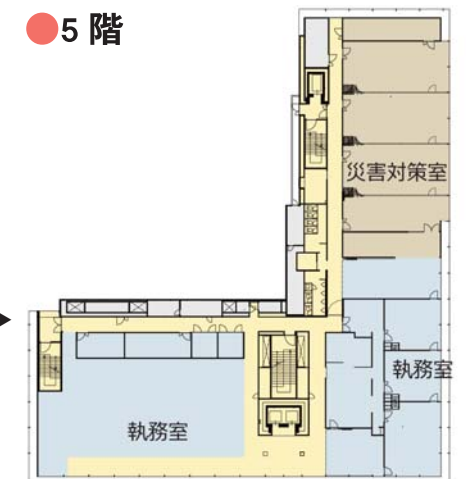
カフェ・売店
待合スペースと一体となったカフェ・売店を配置

●6階



◀ 執務室や諸室を配置

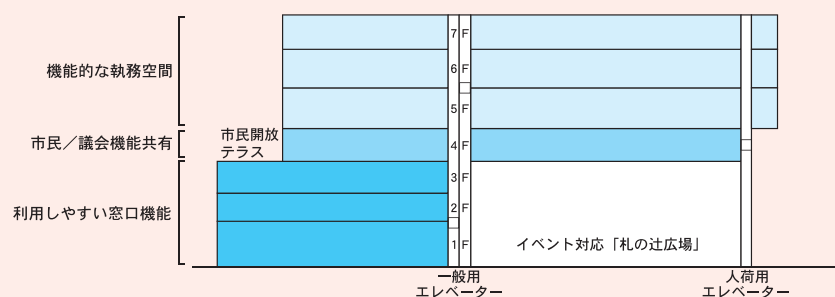
●5階



災害対策室を配置し、緊急時には、災害対策本部として機能を発揮

わかりやすく機能的な3層構成

市民利用を重視し、低層部に窓口機能、高層部に執務空間、中層部に市民開放空間と議会機能を配置します。



各階配置計画

7階	機械設備諸室と書庫・倉庫
6階	産業振興関係の執務室
5階	執務室や災害対策関連諸室など
4階	議会関連諸室と市民利用が可能なテラス・ラウンジ
3階	税金・年金関連窓口
2階	健康福祉関連窓口
1階	市民の利用頻度が高い市民生活関連窓口
地階	備品の倉庫、雨水や雑用水利用のポンプなどの機械室

※7階(配置図は省略)…機械設備諸室、書庫などを配置

